

大雨等の自然災害により被災した畜産農家への復旧支援

中丹家畜保健衛生所

○岩本尚史 井上巖夫 寺石武史

【はじめに】中丹地域は平成25年9月の台風18号、平成26年8月豪雨と2年連続の大雨災害に見舞われ、畜産農家でも土砂崩れ、土砂流入、浸水等により家畜や施設に大きな被害をもたらした。当所は被災農家に緊急立入り、復旧支援を行ったので報告する。

【災害状況】台風18号等により管内で被災した畜産農家は16戸。このうち家畜の被害7戸（乳用牛の死亡5頭、蜜蜂の流失51群）。浸水等による被害14戸。自給飼料・機械の被害3戸（飼料畑冠水19ha、トラクター等水没7台）。平成26年8月豪雨で被災した畜産農家は7戸。家畜の被害1戸（肉用鶏の死亡15千羽）。浸水等による被害6戸。自給飼料・機械の被害2戸（飼料畑冠水28ha、農機等水没3台）。

【対応】災害発生直後から情報収集に当たり、支援の必要な農家に対して緊急立入りを実施した。死亡した家畜を搬出し焼却。関係機関・団体と連携して流入した土砂等を排出し、畜舎を洗浄消毒。家畜の健康状態を確認し、診療獣医師と協力して衛生指導をおこない、被害拡大の防止と、家畜伝染病の発生予防に努めた。また被害の大きかった農家については府が創設した農業者等復旧応援事業を活用し、25年度14戸、26年度5戸で事業に取り組み、被災した畜産農家すべてにおいて経営を再開した。